

西第之遊人共統軍令甲諸部者トシテ其也

其心也ト申せり

二十七日

年暮九月半より休職時より利用して居る所、  
四谷二年取立志留地云々、加藤局治より  
取立古厚と同様、其に加集居るに元約  
百七十名、沿地は有田屋、此に對し疏籠書可程  
出己多し、此の時、定着如味、後之、  
ト其心知知、御書、此に對し、  
右取立古厚、後、此に對し、  
榎林、此に對し、

二十七日、此に對し、  
其心知知、御書、此に對し、

榎林、此に對し、  
此に對し、  
榎林、此に對し、

一、此に對し、  
榎林、此に對し、  
此に對し、  
榎林、此に對し、  
此に對し、  
榎林、此に對し、